科目名（英）	音楽理論２ （ Music thory ２ ）	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	今藤雅博
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 4	開講区分 曜日・時限	年間 火曜
学科・コース	音楽コミュニケーション科（昼間Ⅱ部）						
教員の略歴	2007年よりミュージシャンとしてアーティストの演奏サポート、セッション、作編曲で活動。						
授業の学習内容	マイナーダイアトニックコード ノンダイアトニックなドミナントコード テンションノート						
到達目標	マイナーダイアトニックコードの仕組みと、コード機能を理解する。 ノンダイアトニックなドミナントコードを理解する。 各コードで使用可能なテンションノートを理解する。						
評価方法と基準	1）定期テスト60% 2）授業内評価20% 3）授業態度20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	演習	ドミナント系コードのテンションノートを学ぶ①	テンションの組み合わせについて復習する
2	／	演習	ドミナント系コードのテンションノートを学ぶ②	テンションの組み合わせについて復習する
3	／	演習	借用されたサブドミナントマイナーコードを学ぶ	借用された場合のテンションの違いを復習する
4	／	演習	変則的なサブドミナントコードを学ぶ	起源と使用法、テンションノートを復習する
5	／	演習	ディミニッシュコードを学ぶ	使用法とテンションノートを復習する
6	／	演習	アヴェイラブルノートスケールを学ぶ　導入	テンションノートとの関係性についてを復習する
7	／	演習	アヴェイラブルノートスケールを学ぶ①	ドミナント以外のコードを扱って復習する
8	／	演習	アヴェイラブルノートスケールを学ぶ②	ドミナント系コードを扱って復習する
9	／	演習	テスト	これまでの内容を復習する
10	／	演習	和声学の基礎知識を学ぶ	配分、禁則事項についてを復習する
11	／	演習	3和音基本形を学ぶ①	バス課題を復習する
12	／	演習	3和音基本形を学ぶ②	ソプラノ課題を復習する
13	／	演習	3和音　転回形を学ぶ①	バス課題を復習する
14	／	演習	3和音　転回形を学ぶ②	ソプラノ課題を復習する
15	／	演習	転調と反復進行を学ぶ①	バス課題を復習する
16	／	演習	転調と反復進行を学ぶ②	バス課題を復習する
17	／	演習	転調と反復進行を学ぶ③	ソプラノ課題を復習する
18	／	演習	転調と反復進行を学ぶ④	ソプラノ課題を復習する
19	／	演習	属七和音を学ぶ①	バス課題を復習する
20	／	演習	属七和音を学ぶ②	バス課題を復習する
21	／	演習	属七和音を学ぶ③	バス課題を復習する
22	／	演習	属七和音を学ぶ①	ソプラノ課題を復習する
23	／	演習	属七和音を学ぶ②	ソプラノ課題を復習する
24	／	演習	属七和音を学ぶ③	ソプラノ課題を復習する
25	／	演習	副七和音を学ぶ①	バス課題を復習する
26	／	演習	副七和音を学ぶ②	ソプラノ課題を復習する
27	／	演習	属九和音を学ぶ①	バス課題を復習する
28	／	演習	属九和音を学ぶ②	バス課題を復習する
29	／	演習	属九和音を学ぶ②	ソプラノ課題を復習する
30	／	試験	テスト	これまでの内容を復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 iPad教材、ワークブック、五線紙、筆記用具

科目名（英）	PA実習2 （PA Workshop2）	必修選択	必修選択	年次	2年	担当教員	條範行
		授業形態	実習	総時間（単位）	120 4	開講区分 曜日・時限	年間 月曜
学科・コース	音楽コミュニケーション科（昼間Ⅱ部）						
教員の略歴	1998年より（株）東北共立に所属し、コンサート・舞台等の現場にてPAエンジニアとして活躍する。						
授業の学習内容	卒業までの残り1年間となり、卒業後の就職を具体的に考える 1年生の復習 PA機器接続の理解 個々の楽器の音の作り方を学び、音量・音質・バランスの感覚を習得する。 舞台機構調整技能士3級の実技・ヒアリング・筆記試験の反復練習 作業スピードを上げるにはどうするかを考えさせる						
到達目標	PA機器を全員が接続～音を出せるようにする 舞台機構調整技能士3級全員合格 バンドのミックスバランスを習得する ミュージカル本番を想定した仕込み～本番～バラシの時間を考える						
評価方法と基準	定期テスト 実技テスト						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	実習	各自卒業後の目標を立て、それに向けてどのようなスキルを磨いていくべきかディスカッションを行う	目標シートを作成する
2	／	実習	仮設PAセットのシステムを理解し、組み立て・接続をできるようになる①	セッティングシート・回線図を作成する
3	／	実習	仮設PAセットのシステムを理解し、組み立て・接続をできるようになる②	グループワークの分担表を作成する
4	／	実習	仮設PAセットのシステムを理解し、組み立て・接続をできるようになる③	設定時間内に作業ができるよう練習する
5	／	実習	周波数の帯域を理解し、自分の耳で変化を聞き分ける訓練を行う①	各種機器に備わっているイコライザーの特性を理解する
6	／	実習	周波数の帯域を理解し、自分の耳で変化を聞き分ける訓練を行う②	メインスピーカー、モニタースピーカー、ヘッドホンなど異なる機器による出音の違いを知る
7	／	実習	デジタル卓を使用して設定方法を習得する①	AD/DAコンバーター・Dante・LAN・マトリックスについて復習する
8	／	実習	デジタル卓を使用して設定方法を習得する②	Wifiとipadアプリでのコントロール・マイク・音源を使用したサウンドチェック復習する
9	／	実習	外部ホール実習、舞台機構を学ぶ	図面を見て内容を理解する
10	／	実習	ライブイベントに向けての準備を行う	出演者情報を基にプランシートを作成する
11	／	実習	ライブイベントに向けてのサウンドチェックを行う	出演者を交えてコラボレーションしイベント制作を行う
12	／	実習	ライブイベントゲネプロ	出演者を交えてコラボレーションしイベント制作を行う
13	／	実習	ライブイベント本番①	出演者を交えてコラボレーションしイベント制作を行う
14	／	実習	ライブイベント本番②	出演者を交えてコラボレーションしイベント制作を行う
15	／	実習	ワイヤレスマイクの種類とチャンネルプランについて習得する	ハンドタイプ、ベルトパックタイプそれぞれのバッテリーやボタン設定などを確認する
16	／	実習	外部ホール実習、ワイヤレスマイクのオペレーションを行う	事前に特定ラジオマイク連盟への申請書類を作成し、送信する
17	／	実習	音作り・エフェクタの使用方法を学ぶ	コンプレッサー、リミッターなどダイナミクス系エフェクトの基本的なセッティングを復習する
18	／	実習	音作り・エフェクタの使用方法を学ぶ②	リバーブ、ディレイなど空間系エフェクトの基本的なセッティングを復習する
19	／	試験	実技試験：デジタル回線を使用した音響機器の組み立てとオペレートを行う	実際の機器を準備して予習する
20	／	実習	回線表・プランの作成方法を習得する	仮想のライブを見立てて各自で回線表を作成しプラン通りのセッティングを行ってみる
21	／	実習	ミュージカルを想定し回線プランを作成する①	昨年度までの各種資料を基に実際の新曲等を加えたプランをグループで作成する
22	／	実習	ミュージカルを想定し回線プランを作成する②	本番で利用するホールのプラン及びリハーサル用の設定など各種作成してみる
23	／	実習	スピーカーのチューニングを習得する①	ピンクノイズを鳴らしてHI、HI-MID、MID、LOWのなり方を聴き比べる
24	／	実習	外部ホール実習、ミュージカルバンドのオペレートを体験する	出演者の情報を事前に入手し、円滑な進行ができるよう準備する
25	／	実習	ピンマイクの扱い方を習得する①	ラベリアマイクロフォンの特性について教科書とマニュアルを見比べて復習する
26	／	実習	ピンマイクの扱い方を習得する②	実際の現場で取り付けるために必要なテープ類や汗を防ぐ養生用品を復習する
27	／	実習	トラブルシューティング、ステージ上で起こりうるトラブルについて学ぶ①	参考用のライブ映像を鑑賞し、トラブルの起こりやすい環境、場面を考える
28	／	実習	トラブルシューティング、PA卓上で起こりうるトラブルについて学ぶ②	デジタル卓で起こりうる、デジタルループやネットワーク回線トラブルについて復習する
29	／	試験	実技・筆記試験：舞台機構調整士技能認定3級試験を想定したテストを行う	過去問題を参考に予習する
30	／	実習	外部ホール実習、卒業進級展ライブ実習を行う	出演者との綿密な情報交換と、各セクションとのミーティングを行い、クリアにする
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 □

PA入門

科目名（英）	照明実習2 (Lighting Workshop2)	必修選択	必修選択	年次	2年	担当教員	阿部央到
学科・コース	音楽コミュニケーション科（昼間Ⅱ部）	授業形態	実習	総時間（単位）	120 4	開講区分 曜日・時限	年間 月曜
教員の略歴	2001年より（株）東北共立に所属し、コンサート・舞台等の現場にて照明オペレーターとして活躍する。						
授業の学習内容	卒業まで自分が目指す照明エンジニアへの準備。 1年生で学んだことの復習と応用。 作業内容のよりよくするための見直し、仕込みやプログラムスピードの向上。						
到達目標	図面制作、仕込み、パッチ、シュート、プログラム、バラシすべての作業のクオリティーをあげること。						
評価方法と基準	実技60%・授業内評価40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	実習	照明卓Tiger TouchⅡの機能を学ぶ①	Tiger TouchⅡを使用して復習する
2	／	実習	照明卓Tiger TouchⅡの機能を学ぶ②	Tiger TouchⅡを使用して復習する
3	／	実習	照明卓Tiger TouchⅡの機能を学ぶ③	Tiger TouchⅡを使用して復習する
4	／	実習	Tiger TouchⅡでのプログラミングを学ぶ①	Tiger TouchⅡを使用して復習する
5	／	実習	Tiger TouchⅡでのプログラミングを学ぶ②	Tiger TouchⅡを使用して復習する
6	／	実習	Tiger TouchⅡでのプログラミングを学ぶ③	Tiger TouchⅡを使用して復習する
7	／	実習	外部ホール実習に向けて準備をする	校内ホール設備を使用して復習する
8	／	実習	外部ホール実習に向けて仕込み・シュート実習を行う	校内ホール設備を使用して復習する
9	／	実習	外部ホール実習	1・2年生で合同チームを組み、チームとしてリーダーシップを発揮できるよう資料等準備する
10	／	実習	ライブイベントに向けての準備をする	出演者情報を基にプランシートを作成する
11	／	実習	ライブイベントに向けてのピンスポット練習する	ステージ図面を基にシミュレーションリハーサルを行う
12	／	実習	ライブイベントゲネプロを行う	出演者を交えてコラボレーションしイベント制作を行う
13	／	実習	ライブイベント本番を行う①	出演者を交えてコラボレーションしイベント制作を行う
14	／	実習	ライブイベント本番を行う②	出演者を交えてコラボレーションしイベント制作を行う
15	／	実習	イベントの振り返り・反省する	各自が体験した反省点を項目ごとに準備する
16	／	実習	外部ホール実習　調光卓の操作を行う	機材リスト・タイムテーブルの読み込みを行う
17	／	実習	ホール・劇場での仮設卓使用について学ぶ	設置場所の形状と使用電源の電力確認を行い、ホール担当者との事前情報交換などを行う
18	／	実習	照明基礎知識の確認・復習を行う	これまでの教科書・プリントを見直し復習する
19	／	試験	実技試験：吊り込み作業とTiger TouchⅡを使用してムービングのオペレートを行う	実際の機器を準備して予習する
20	／	実習	ミュージカル実習に向けた役割分担を行う	本番で使用するホールの機構と必要とされる演出内容を基にメンバーを割り振る
21	／	実習	ミュージカル実習に向けた技術指導を行う①	本番で使用するホールの機構と必要とされる演出内容を基にセクション毎の必要スキルを考える
22	／	実習	ミュージカル実習に向けた技術指導を行う②	本番で使用するホールの機構と必要とされる演出内容を基にセクション毎の必要スキルを磨く
23	／	実習	ミュージカル実習に向けた技術指導を行う③	一般対応担当、ムービング担当、ピン担当、など各チーム合同でシミュレーション作業を行う
24	／	実習	外部ホール実習、ミュージカルバンドのオペレートを行う	1・2年生で合同チームを組み、チームとしてリーダーシップを発揮できるよう資料等準備する
25	／	実習	野外仮設照明現場について学ぶ①	設置場所の形状と使用電源の電力確認及び櫓などの高所作業の安全確認も行う
26	／	実習	野外仮設照明現場について学ぶ②	設置場所の形状と使用電源の電力確認及び櫓などの高所作業の安全確認も行う
27	／	実習	図面を見て仕込み→シュート→バラシの総合実技を行う①	クラス内でチームを編成し、仕込み図を作成する
28	／	実習	図面を見て仕込み→シュート→バラシの総合実技を行う②	制限時間内で規定の作業を行えるよう練習する
29	／	試験	実技・筆記試験：舞台テレビジョン照明オペレーター技能認定1級を想定したテストを行う	過去問題を参考に予習する
30	／	実習	外部ホール実習、卒業進級展ライブ実習を行う	出演者との綿密な情報交換と、各セクションとのミーティングを行い、クリアにする
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 □

科目名（英）	レコーディング実習2 (Recording Workshop2)	必修選択	必修選択	年次	2年	担当教員	常盤 大志
		授業形態	実習	総時間（単位）	120 4	開講区分 曜日・時限	年間 月曜
学科・コース	音楽コミュニケーション科（昼間Ⅱ部）						
教員の略歴	2003年よりレコーディングエンジニアとしてMonkeymajik等のアーティストを担当、現在はプロデューサーとしてアーティスト育成も行う						
授業の学習内容	スタジオ内の各種機材を使用しコンピューターを使用した録音作業を実践し学習する。						
到達目標	一般的な録音作業を理解し実践出来るようになる。						
評価方法と基準	実技60%・授業内評価40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	実習	ProToolsの初期設定を理解する。	各種音質設定をサンプルを参考に比較する。
2	／	実習	ProToolsの各種トラックを理解する。	オーディオ、MIDI、ビデオトラックなどを複合したセッションを作成してみる。
3	／	実習	タイムコードとクロックを理解する。	MIDI機器を複数台リンクして同期を試してみる。
4	／	実習	ステレオマイクセッティングを理解する。	ステレオマイクを設置して録音し、モノラルとの違いを比較する。
5	／	実習	実践的なEQの使い方を考える。	ドラムの録音にイコライザーを使用してみる。
6	／	実習	実践的なコンプレッサーの使い方を考える。	ドラムの録音にコンプレッサーを使用してみる。
7	／	実習	実践的なディレイの使い方を考える。	ヴォーカルの録音にディレイを使用してみる。
8	／	実習	実践的なリバーブの使い方を考える。	ヴォーカルの録音にリバーブを使用してみる。
9	／	実習	HAの使い方を考える。	ミキサー内蔵のマイクプリアンプや外付けタイプの機種など特徴を覚える。
10	／	実習	トランスの役割を理解する。	スタジオ内の電源口の電圧の違いと、115Vの用途を把握する。
11	／	実習	DI とリアンプ を理解する。	リアンプ時の出力レベル範囲を把握し、実際に音を録音して試聴する。
12	／	実習	これまでの理解を確かめ再確認する。	
13	／	実習	実音とデジタルのレーテンシーを考察する。	ディレイ(遅延)を軽減させる手法とマシンスペック・パワーのバランスを各機で試してみる。
14	／	実習	デジタルとアナログの接続ケーブルを学ぶ。	アナログ接続ケーブルのメーカー、グレード、長さなど複数試して違いを確かめる。
15	／	実習	ワークショップ：録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
16	／	実習	ワークショップ：録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
17	／	実習	ProTools のデジタル接続を理解する。	PC、インターフェース、ミキサーの間でデジタル使用による音質の違いを確かめる。
18	／	実習	マルチコンプレッサーを理解する。	プラグインを利用して帯域ごとにGAINを調節して音色を確認する。
19	／	実習	アナログレコーダーを理解する。	アナログの音質の長所、短所とテープを扱う上での注意点を把握する。
20	／	実習	ワークショップ：録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
21	／	実習	ワークショップ：録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
22	／	実習	ProTools のバウンスを理解する。	仕事内容、目的の応じて作成するファイル形式が異なる事を復習し、把握する。
23	／	実習	M−Sマトリックスを学ぶ。	ステレオ信号を、Mid成分(L+R)とSide成分(L−R/R−L)の3チャンネルに分けてMIXしてみる。
24	／	実習	マスタリングについて理解する。	サンプルセッションを使用してマスタリングを完成させる。
25	／	実習	ワークショップ：録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
26	／	実習	ワークショップ：録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
27	／	実習	PCM録音と1Bit録音について理解する。	1bit録音で作成された音源を視聴し、音質を確かめる。
28	／	実習	ワークショップ：録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
29	／	実習	ワークショップ：録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
30	／	試験	一年間の理解を確かめ再確認する。	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 □

科目名（英）	ヴォイストレーニング２ （ Voice Training2 ）	必修選択	必修選択	年次	2年	担当教員	長谷川開
		授業形態	実習	総時間（単位）	120 4	開講区分 曜日・時限	年間 月曜
学科・ｺｰｽ	音楽コミュニケーション科（昼間Ⅱ部）						
教員の略歴	2011年よりヴォーカリストとして活動開始、現在はThe Soulmaticsに在籍し、ディズニーやミュージカルでのステージ、ヴォイストレーナー等を務める。						
授業の学習内容	発声についての基礎と応用。歌唱との結び付け。歌を歌う授業は勿論、声を使う授業全般に関連します。						
到達目標	業界に通用する基礎能力、技術力。練習や課題を通しての人間力向上や、プロセスの踏み方等。						
評価方法と基準	授業内評価60% 課題達成率20% 発表会20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	実習	発声についての復習と課題曲発表を行う	自主練習※特殊課題やレポートが出された際はそれを行う。
2	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
3	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
4	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	アドバイスを意識した練習を行う
5	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
6	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
7	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	アドバイスを意識した練習を行う
8	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
9	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
10	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	アドバイスを意識した練習を行う
11	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
12	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
13	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	アドバイスを意識した練習を行う
14	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
15	／	試験	Vocal Show Case発表	
16	／	実習	発声についての復習と課題曲発表を行う	自主練習※特殊課題やレポートが出された際はそれを行う。
17	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
18	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
19	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	アドバイスを意識した練習を行う
20	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
21	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
22	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	アドバイスを意識した練習を行う
23	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
24	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
25	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	アドバイスを意識した練習を行う
26	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
27	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
28	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	アドバイスを意識した練習を行う
29	／	実習	発声練習を行う、課題曲歌唱をチェックする	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
30	／	試験	Vocal Show Case発表	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 □

科目名（英）	コンサート制作2 (Concert Making2)	必修選択	必修選択	年次	2年	担当教員	千葉秀
		授業形態	実習	総時間（単位）	120 4	開講区分 曜日・時限	年間 木曜
学科・コース	音楽コミュニケーション科（昼間Ⅱ部）						
教員の略歴	1989年より流行天国工房を設立し、プロデューサーとして音楽を中心としたTV番組制作やCD制作、コンサート制作のマネジメントを歴任						
授業の学習内容	※音楽業界にとどまらず組織を円滑に運営するためマネジメントは重要でその基礎となる部分を体験していく ※グループ、組織での合同実習などの際に「見学」から一歩踏み込んで自分の場を作る事を目指し、疑問→考え→行動まで移す。 ※リーダーとマネジメントの違いに気付いてもらい、相手の立場や個性も尊重し合いながらミッションを達成するという最大目標を投げ出さず、到達させたい。 ※わからない。失敗する。を前提としなるべく多くの答えを導き体験させたい。						
到達目標	締め切りまでのアップ率強化。対外的な見せ方、メモ強化。即行動。返事のレスポンス。□疑問を疑問のままで終わらせないなどを注意深く、根気強く、わかりやすく、ルーブしながら教えていく。						
評価方法と基準	1）定期テスト60%　2）授業内評価40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	実習	各自自己紹介と1年間の流れを説明する	授業及び実習に必要な準備物を確認する
2	／	実習	グループワークでコミュニケーションの糸口を探る	人前で発表する事を練習する
3	／	実習	マネジメントとマネージャーについて学ぶ	これまで持っていた概念と本来の意味のギャップを埋める
4	／	実習	合同授業（現場マネジメント）現場という空間の中で自分が準備しなければいけない事を学ぶ	行動に移さなければいけないことをシーンごとに確認する
5	／	実習	合同授業（学園祭反省会）学園祭の計画内容と、実際の行動での気づきを発表する。	正しい自己評価ができてるか検証する
6	／	実習	制作費（予算）の算出を学ぶ	事業計画をするにあたって必要な制作費の算出項目とその算出方法を身に付ける
7	／	実習	現場マネジメント（スケジュール管理）ミュージカル実習を連動する	本番までのスケジュール管理をしていく、全体スケジュール表の制作とクラウドにアップする
8	／	実習	多様化していくプロモーションアイテムについて学ぶ	媒体の種類・方法について調べてみる
9	／	実習	WEBプロモーションの仕組みや印刷に関する基礎知識を学ぶ	媒体の種類・方法について調べてみる
10	／	実習	現場マネジメント（情報管理）ミュージカルレ実習を連動する	計画通りに進んでいるか、新規情報があるかなどをチェックしクラウドアップ・共有する
11	／	実習	現場マネジメント（プロモーション・運営計画）ミュージカル実習（決起集会）を連動する	伝えたいテーマ、目標、達成値などをメモし、その意向を自分でも十分外部に発信できるようにする
12	／	実習	現場マネジメント（制作計画）ミュージカル実習と連動する	現場で必要なデーターを管理し、各セクションとのコミュニケーションの中心になるためのフォーマット作り、制作項目のチェックリスト作り、クラウドアップ
13	／	実習	現場マネジメント・アーティストケアを学ぶ	ミュージシャンのパフォーマンスが高くなるために必要な環境をどう作っていくか考える
14	／	実習	現場マネジメント・アーティストケアを実践する	手話指導やリハーサル時間外でどのようにコミュニケーションを構築していくか実践する
15	／	実習	現場マネジメント・アーティストケアを実践する	キャスティングの決定した段階で担当マネージャーを配置する
16	／	実習	現場マネジメント・アーティストケアを実践する	ホールリハーサル実習。タイムテーブルに従い円滑に進行できるようサポートする
17	／	試験	イベント本番	
18	／	実習	人を使う、人に教えることについて学ぶ	各セクション毎に練習とミッション遂行。
19	／	実習	業界対策に関する講義を行う	学んだ様々な対策を自身の業種や進路になぞらえて考える
20	／	実習	イベント運営を主催者目線で考える	コンセプトワークとマネジメントについて話し合う
21	／	実習	イベント企画を多方向から考える1	題材を基に各自のアイデアや事例を出し合いまとめる
22	／	実習	イベント企画を多方向から考える2	題材を基に各自のアイデアや事例を出し合いまとめる
23	／	実習	組織としてのイベント企画を行う1	卒業進級展を題材に運営計画を打ち合わせる
24	／	実習	組織としてのイベント企画を行う2	卒業進級展を題材にタイムテーブル・企画書を作成する
25	／	実習	組織としてのイベント企画を行う3	卒業進級展を題材にタイムテーブル・企画書を作成する
26	／	実習	組織としてのイベント企画を行う4	卒業進級展を題材に出演者とのミーティングを行う
27	／	実習	組織としてのイベント制作を行う1	卒業進級展を題材に出演者とのミーティングを行う
28	／	実習	組織としてのイベント制作を行う2	卒業進級展を題材にリハーサル計画・プロモーションプランを完成する
29	／	実習	組織としてのイベント制作を行う3	卒業進級展を題材にリハーサル運営とプロモーションを行う
30	／	試験	イベント本番	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	楽器演奏2 (Advanced Keyboard2)	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	稲垣達也
		授業形態	実習	総時間（単位）	120 4	開講区分 曜日・時限	年間 月曜
学科・コース	音楽コミュニケーション科（昼間Ⅱ部）						
教員の略歴	1982年よりピアニスト・作編曲家として活動。Jazz Popsをベースにジャンルフリーに作曲演奏活動し、CDもリリース。2004年にはNHK番組の音楽も担当。						
授業の学習内容	1年次に習得したPianoの基礎演奏技術（脱力＞指に重さが乗せられる、ハノン、コードネームによる演奏、ペダル）をもとに2年次はハイフィンガーによる指の筋力の強化、ハノンによる指の分離3-4 4-5、スケールトレーニング 様々なジャンルの楽曲のアナライズと他の楽器～バンドにおけるKeyboardの役割、演奏法、コードのボイシングを総合的に習得する 音符の譜面で弾けるようになったら、リードシートだけで弾けるように仕上げる						
到達目標	音符の読譜力を高め、Piano SoloやPianoだけによる伴奏、弾き語りができるようにする 音符による譜面が無くても、メロディー＆コードの譜面（リードシート）で自ら適切なTop noteによるボイシングができる。 テンションノートを適切に使用できる。 その曲のジャンルに合ったGrooveを音源やスコアーから把握し、Gt Dr Bass などアンサンブル内におけるKeybが担う 役割を把握し適切なリズム、Grooveを与える コードネーム、コード進行をアナライズしてコードスケールを把握できる＞コード進行に沿ったad-libができる						
評価方法と基準	1）定期実技テスト50% 2）授業内評価50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	実習	Pops メジャーKey ①-1 p8～9 ♪パターン 01～03 コード進行アナライズ ペダルポイントとは 音源 1、2 を練習する	「キーボード・バッキング138+付属音源」 音符の譜面で弾けるようになったら、Keyb無しのリードシート音源に合わせて練習する
2	／	実習	コードネーム＞まずメジャー三和音に直して弾く	＞mなら3rdをb＞7thやM7thがあれば付加 ＞コードの転回によるスムースな連結 ♪最初のコードのTop noteをメロディーとの兼ね 合いで決め＞伴奏として適切な音域に収める
3	／	実習	Pops メジャーKey ①-2 p8～9 ♪パターン 01～03 コード進行アナライズ ペダルポイントとは ソプラノ・ペダル（2音もある）がコードチェンジ したそれぞれのコードで何の音にあたるか解析する	基本コードの全音上のmコード=（9、11、13）分数コード＞ベース音をRとして書き直してみると＞3rdや5thの省略されたテンションコード この時の分子が3和音の時U.S.T.
4	／	実習	Pops メジャーKey ② P10～11 ♪パターン04～07 音源 2を練習する	楽器：パッド、ローズ、シンセ・リード で練習する
5	／	実習	①カントリー・ポップ p20～21 テンポ 80 bpm ♪パターン 01～03 音源 7、8を練習する <Rhodesローズ ハモンドOrg ストリングスStr＞ YAMAHA P140 Others（Org Str Clav）	下記楽曲を練習する 「ジャンバラヤ」 ハンク・ウイリアムス 「Top of the World」(カーペンターズ) 「カントリーロード」ジョンデンバー
6	／	実習	②カントリー・ロック p22～23 テンポ 110 bpm ♪パターン 01～03 音源 9、10を練習する	下記楽曲を練習する C.C.R.「雨を見たかい」「プラウドメアリー」
7	／	実習	Pops マイナーKey ① p14～16 Gtとの役割分担 ♪パターン 01～03 マイナーKey ② p16～19 ♪パターン 06～11を練習する	音源 5 ポップス(ダーク)/リード・シート 音源 6 ポップス(ダーク) に合わせて練習する
8	／	実習	ブラック・ミュージックのGroovyなバッキング P28～33 を練習する 同じコード進行だが音源（楽器）とリズムによって様々なGrooveを生み出す	音源15 リズミック/リード・シート 音源16 リズミック に合わせて練習する
9	／	実習	<BE> W10～12 の課題曲の音源＆keyb譜面も合わせてアナライズ、演奏する	下記楽曲を練習する ① Ain't No Mountain High Enough ② We are the world
10	／	実習	ブルースをBlue Noteから練習する Blue Noteの3音-- b3 #4(b5) b7 ♪Blue Note Scale b3 #4(b5) b7 全て含む ♪Minor Pentatonic b3 b7	Blues Rock (HG3>GS>24_BL_S) 「Crossroads」（エリック・クラプトン） 「Can't Buy Me Love」（ビートルズ） Aメロ 12小節3コードbluesリズム=シャッフル
11	／	実習	＜アドリブ即興演奏＞ F bluesにおけるad-libフレーズの作り方 ＞スケールの1音、2音、3音、4音、全ての音 稲森康利『First Step』F blues / Bb blues フレーズ集&付属CDを練習する	Solo Pianoを練習する ①「君をのせて」 RH メロ LH 10thのアルペジオの作り方 ② 2 Hand ボイシング / 10thのアルペジオ
12	／	実習	曲のジャンルを説明し、そのジャンルでの成り立ちやセッション、アンサンブル時における必要な知識と対応力のキーポイントを理解し、コード進行とメロディの関係を考える。テーマが弾ける人は引いてもらい一通り通す事を目標とする。	＜Spain＞アドリブは取れる人のみで構わないが、使える音を理解する。テンポを変えて演奏し、一人一人がアレンジを考え曲に対しての様々なアプローチを実践する。
13	／	実習	曲を通して演奏できる事を目標とし、アドリブ、エンディングをしっかりできるようにし、次週の録音に向けた対策をとる。	＜Spain＞アドリブは取れる人のみで構わないが、使える音を理解する。テンポを変えて演奏し、一人一人がアレンジを考え曲に対しての様々なアプローチを実践する。

14	／	実習	ワークショップ　録音実習を行う	最終確認を行い、録音を行う。録音を確認し、何がよく、何が足りないかを考察し、どうすればよくなるか耳と自己診断を行う。
15	／	試験	＜Keyb実技試験＞ コード、スケール（片手→両手）、運指を行う	メジャーキー　③ Intro & Outro p12～13 ♪イントロ 01～03 　ピアノのみ、2コード、リズミック ♪アウトロ 01～03 盛り上がり、カットアウト、落ち着いたEnding
16	／	実習	<BE> ①Uptown Girl （key=Db～）②Perfect を練習する	曲の練習前に「指のストレッチ」のプリントで腕、手首、指の脱力＞腕の重さを指先にかけた奏法により手の筋肉だけに頼る無理な奏法を修正する
17	／	実習	コードネームからのR-3-5-7の見つけ方を学ぶ	コードネームの読み取り方を練習する 例　Dm7 ① D（メジャー）の手の形（鍵盤の色） ② D→Dm 3rdを半音下げる ③ 7th ルートDの全音下の音を加える
18	／	実習	<BE> W4 (5/21)～W6 (6/11) ① Virtual Insanity ハーフタイムシャッフル ② We Are Never Ever Get Back Together 　Vo：テイラー・スウィフト（カントリー→ポップス）を練習する	Swing　⇔　Shuffle Swing（倍テン）⇔ Half time Shuffle *倍テン---Double Time feelを練習する
19	／	実習	<IE> W4～6 The Girl From Ipanema ボサノヴァ 参考 Piano Trio用譜面 バッキング・パターン　ボサノヴァ p76～77 ♪パターン01～03 音源39＆40を練習する	Pianoテンションコードcloseボイシング（片手） A form(3rd～)　B form(7th～)を Ⅱm7-Ⅴ7-Ⅰのコード進行で12keyで練習する
20	／	実習	学園祭担当曲を練習する	P-140 とRD700：Transpose（移調） RD700のOrg音源に対するExpペダルと ロータリースピードSlow ⇔ Fastの使い方 RD700本体にセッティングを記憶・保存する方法
21	／	実習	<BE> W7～9 ① Rosanna　② Break Out <IE> W7～9　Spain (Chick Corea) を練習する	ハーフタイムシャッフルの草分けTOTOの「Rosanna」を練習する Jazzにスパニッシュとラテンを加えたChick Corea歴史的名曲「Spain」を音源、映像などを見ながら深く味わう
22	／	実習	<BE> W7～9 ① Rosanna　② Break Out <IE> W7～9　Spain (Chick Corea) を練習する	ハーフタイムシャッフルの草分けTOTOの「Rosanna」を練習する Jazzにスパニッシュとラテンを加えたChick Corea歴史的名曲「Spain」を音源、映像などを見ながら深く味わう
23	／	実習	ブラック・ミュージックのGroovyなバッキング P28～33 同じコード進行だが音源（楽器）とリズムによって様々なGrooveを生み出す ♪パターン 01～11を練習する	音源15 リズミック/リード・シート 音源16 リズミックを模範演奏として練習 に合わせて練習する
24	／	実習	<BE> W10～12 ① Ain't No Mountain High Enoughを練習する	Ain't No Mountain High EnoughのRD700における音源を選ぶ
25	／	実習	<BE> W10～13 ② We Are the Worldを練習する	We Are the WorldのRD701における音源を選ぶ
26	／	実習	Blues scale⇔マイナーペンタトニック F bluesにおけるad-libフレーズの作り方を学ぶ ＞スケールの1音、2音、3音、4音、全ての音 稲森康利『First Step』F blues / Bb blues フレーズ集&付属CD	＜Jazz blues＞を練習する ① C Jam Blues (Cblues) 右手 テーマ&ad-lib 左手 コードの2音(R-5.3rd-7th,7th-3rd)
27	／	実習	Blues scale⇔マイナーペンタトニック F bluesにおけるad-libフレーズの作り方を学ぶ ＞スケールの1音、2音、3音、4音、全ての音 稲森康利『First Step』F blues / Bb blues フレーズ集&付属CD	＜Jazz blues＞を練習する ② Bag's Groove (Fblues) 右手 テーマ&ad-lib 左手 コードの2音(R-5.3rd-7th,7th-3rd)
28	／	実習	Blues 12小節 3コードのバッキング（両手） p52～55 ♪パターン 01～07　音源 23、24を練習する	Pianoテンションコードcloseボイシング（片手） A form (3rd～)　B form (7th～)を 「枯葉」のLHのみのバッキングをA,Bフォームで ＜ミュージカルHOMの挿入曲＞
29	／	実習	ソウルなバッキング p40～45さらにその先を今まで通り音源を利用して練習する	Pianoテンションコードcloseボイシング（片手） A form(3rd～)　B form(7th～)を Ⅱm7-Ⅴ7-Ⅰのコード進行で12keyで練習する
30	／	試験	Keyb実技試験	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

キーボード・バッキングパターン138　音源ファイルは2つセット 例　05 ポップスのリードシート（Keyb以外）06 譜面通りKeyb入り

科目名（英）	楽器アンサンブル2 (Instrumental Ensemble1)	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	黒瀬寛幸
学科・コース	音楽コミュニケーション科（昼間Ⅱ部）	授業形態	実習	総時間（単位）	120 4	開講区分 曜日・時限	前期 水曜
教員の略歴	1999年からベースプレイヤーとして活動し、ティーナカリーナなどのサポートやセッション、ベースマガジンへの寄稿でも知られている。						
授業の学習内容	音楽界が必要としている生演奏のクオリティの向上と楽曲の研究 各科、アナライズの授業でより深く研究、フィードバック 名曲を知り、音楽に対する尊さと思慮深さを身につける 以上を踏まえ、三回で1クールとし楽器陣は二曲、ヴォーカルは1曲を課題曲とする。						
到達目標	バンド内での音楽的コミュニケーションを知り、全体で音楽を作れる習慣を身につける。						
評価方法と基準	1）定期テスト60%　2）授業内評価40% ※各クール 3回目をテストとし、ライブ形式での実演を評価とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	実習	下記楽曲を練習する男性曲 Up Town Girl女性曲 Perfect	Vo別室・楽器合同でアナライズの授業にて予習する
2	／	実習		全パート合同で練習する楽曲更点、アレンジ定着
3	／	実習	テスト、次回曲解説を行う	全パート合同で練習するMCを含む進行案を考えてくる
4	／	実習	男性曲 Virtual Insanity 女性曲 We Are Never Ever Getting Back Together	Vo別室・楽器合同でアナライズの授業にて予習する
5	／	実習		全パート合同で練習する楽曲更点、アレンジ定着
6	／	実習	テスト、次回曲解説を行う	全パート合同で練習するMCを含む進行案を考えてくる
7	／	実習	男性曲 Rossana 女性曲 Break Out	Vo別室・楽器合同でアナライズの授業にて予習する
8	／	実習		全パート合同で練習する楽曲更点、アレンジ定着
9	／	実習	テスト、次回曲解説を行う	全パート合同で練習するMCを含む進行案を考えてくる
10	／	実習	Ain't No Mountain High Enough We Are The World	Vo別室・楽器合同でアナライズの授業にて予習する
11	／	実習		全パート合同で練習する楽曲更点、アレンジ定着
12	／	実習	Music International Project(未定)	Vo別室・楽器合同でアナライズの授業にて予習する
13	／	実習		全パート合同で練習する楽曲更点、アレンジ定着
14	／	実習	テスト、次回曲解説を行う	全パート合同で練習するMCを含む進行案を考えてくる
15	／	試験	前期総合テスト	
16	／	実習	男性曲 Can't Fight This Feeling 女性曲 Heart Breaker	Vo別室・楽器合同でアナライズの授業にて予習する
17	／	実習		全パート合同で練習する楽曲更点、アレンジ定着
18	／	実習	テスト、次回曲解説を行う	全パート合同で練習するMCを含む進行案を考えてくる
19	／	実習	Music International Project(未定)	Vo別室・楽器合同でアナライズの授業にて予習する
20	／	実習		全パート合同で練習する楽曲更点、アレンジ定着
21	／	実習	テスト、次回曲解説を行う	全パート合同で練習するMCを含む進行案を考えてくる
22	／	実習	男性曲 September 女性曲 How Do I Live	Vo別室・楽器合同でアナライズの授業にて予習する
23	／	実習		全パート合同で練習する楽曲更点、アレンジ定着
24	／	実習	テスト、次回曲解説を行う	全パート合同で練習するMCを含む進行案を考えてくる
25	／	実習	We are SSM 対策期間 全楽曲の復習・パフォーマンス練習	Vo別室・楽器合同でアナライズの授業にて予習する
26	／	実習		全パート合同で練習する楽曲更点、アレンジ定着
27	／	実習		Vo別室・楽器合同でアナライズの授業にて予習する
28	／	実習		全パート合同で練習する楽曲更点、アレンジ定着
29	／	実習		全パート合同で練習するMCを含む進行案を考えてくる
30	／	試験	卒業進級展ライブ	
準備学習　時間外学習			各曲の様々なバージョンをYoutube等での閲覧、取り入れ	
【使用教科書・教材・参考書】 SCA製作譜面、メモ用五線譜、楽器、シールド、チューナー、エフェクター等				

科目名 (英)	オーディション対策2 (Audition Project 2)	必修 選択	必修選択	年次	2年	担当教員	唐澤淳
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2	開講区分 曜日・時限	年間 金曜
学科・コース	音楽コミュニケーション科(昼間Ⅱ部)						
教員の略歴	1992年よりフリーランスローディーとして活動し、現在は起業してアーティスト及びクリエーターの育成やマネジメントなどを手掛ける						
授業の学習内容	夢というものから、自分の目指す「目標点」を見つけ、 そこに到達するための「計画」を立て、必要なミッションを遂行するという流れを習慣化し、結果を残すことを目指す。 一般的な事例も学びながら、 日々の中で計画の練り直しや、目標点の再確認などを、各個人のケースに合わせながら進めます。						
到達目標	各自が定めた目標における計画の中で、遂行率に対して80%以上を目指す。						
評価方法と基準	1. 実技試験(%) : 0% 2. 筆記試験(%) : 0% 3. .課題(%) : 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	実習	授業の概要説明と目標設定の仕方を学ぶ	自分の目標地点を明確に探す
2	／	実習	プロジェクト ミーティングを行う	各自見せたいパフォーマンスを考え、グループを組織する
3	／	実習	プロジェクト リハーサルを行う	各自、グループ練習及び作品制作を行う
4	／	実習	プロジェクト 模擬発表を行う	MCや演出を含めたパフォーマンスを考える
5	／	実習	現時点での課題確認と計画を調整する	計画を明確にまとめてくる
6	／	実習	計画表作成・スキルチェックを行う	各自、達成度合いの確認方法を明確にしてくる
7	／	実習	オーディション対策 プロモーションツールを制作する	アーティスト写真・プロフィールシートの制作方法を学び実践する
8	／	実習	オーディション対策 プロモーションツールを制作する	デモ音源を制作の制作方法を学び実践する
9	／	実習	オーディション対策 プロモーションツールを制作する	Youtubeなどの映像コンテンツの制作方法を学び実践する
10	／	実習	オーディション対策 パフォーマンスを実演する	各自、グループ練習及び作品制作を行う
11	／	実習	オーディション対策 パフォーマンスを実演する	各自、グループ練習及び作品制作を行う
12	／	実習	オーディション対策 パフォーマンスを実演する	各自、グループ練習及び作品制作を行う
13	／	実習	オーディション対策 パフォーマンスを実演する	各自、グループ練習及び作品制作を行う
14	／	実習	計画表作成・スキルチェックを行う	各自、達成度合いの確認方法を明確にしてくる
15	／	実習	現時点での課題確認と計画を調整する	計画を明確にまとめてくる
16	／	実習	プロジェクト　ミーティングを行う	企業課題背あることを認識し、コンセプトとミッションを明確にして役割を担う
17	／	実習	プロジェクト スキルチェックを行う	各自、グループ練習及び作品制作を行う
18	／	実習	プロジェクト リハーサルを行う	各自、グループ練習及び作品制作を行う
19	／	実習	プロジェクト リハーサルを行う	各自、グループ練習及び作品制作を行う
20	／	実習	プロジェクト 合同リハを行う	各自、グループ練習及び作品制作を行う
21	／	実習	プロジェクト 外部ホールリハを行う	各自、グループ練習及び作品制作を行う
22	／	実習	プロジェクト 外部ホールゲネプロを行う	各自、グループ練習及び作品制作を行う
23	／	実習	プロジェクト 外部ホール本番を行う	各自、グループ練習及び作品制作を行う
24	／	実習	現時点での課題確認と計画を調整する	計画を明確にまとめてくる
25	／	実習	We areプロジェクト 計画チェックを行う	ユニットごとのミーティング
26	／	実習	We areプロジェクト 資料制作を行う	パフォーマンスの具体的な演出を決定
27	／	実習	We areプロジェクト リハーサルを行う	各自音源制作およびパフォーマンス練習
28	／	実習	We areプロジェクト リハーサルを行う	各自音源制作およびパフォーマンス練習
29	／	実習	We areプロジェクト ゲネプロを行う	各自音源制作およびパフォーマンス練習
16	／	実習	We areプロジェクト 本番を行う	企業や業界関係者に見せる事を意識して
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 □

必要に応じてプリント配布

科目名（英）	デビューコンテンツ制作2 （Debut Project2）	必修選択	必修選択	年次	2年	担当教員	中村　結花
学科・コース	音楽コミュニケーション科（昼間Ⅱ部）	授業形態	実習	総時間（単位）	120 4	開講区分 曜日・時限	年間 金曜
教員の略歴	アーティストへの楽曲提供やCM音楽などの制作に携わっている						
授業の学習内容	コンピューターを使用し、MIDIデータおよびAudioデータを駆使してプロモーション音源を多数制作する。						
到達目標	オリジナル作品を様々なパターンで作成し、進路活動に活用する。 制作する作品が業界基準のアレンジ、音質に仕上げられるレベルを目指す。						
評価方法と基準	授業内評価40%　定期試験 30%　データ提出 30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	実習	外部・内部・機材を説明する	説明内容の理解・復習
2	／	実習	ワークショップ・課題を提示する	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
3	／	実習	ワークショップ・課題を作成する①	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
4	／	実習	ワークショップ・課題を作成する②	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
5	／	実習	ワークショップ・課題を作成する③	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
6	／	実習	ワークショップ・課題を作成する④	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
7	／	実習	ワークショップ・課題を作成する⑤	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
8	／	実習	ワークショップ・課題を作成する⑥	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
9	／	実習	ワークショップ・課題を作成する⑦	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
10	／	実習	ワークショップ・課題提出	MIDIシークエンスソフトを使用し楽曲制作にDTMシステムを積極的に活用できる技術を習得する。
11	／	試験		
12	／	実習	ワークショップ・課題を提示	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
13	／	実習	ワークショップ・課題を作成する①	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
14	／	実習	ワークショップ・課題を作成する②	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
15	／	実習	ワークショップ・課題を作成する③	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
16	／	実習	ワークショップ・課題を作成する④	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
17	／	実習	ワークショップ・課題を作成する⑤	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
18	／	実習	ワークショップ・課題を作成する⑥	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
19	／	実習	ワークショップ・課題を作成する⑦	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
20	／	実習	ワークショップ・課題提出	MIDIシークエンスソフトを使用し楽曲制作にDTMシステムを積極的に活用できる技術を習得する。
21	／	試験		
22	／	実習	ワークショップ・課題を提示	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
23	／	実習	ワークショップ・課題を作成する①	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
24	／	実習	ワークショップ・課題を作成する②	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
25	／	実習	ワークショップ・課題を作成する③	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
26	／	実習	ワークショップ・課題を作成する④	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
27	／	実習	ワークショップ・課題を作成する⑤	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
28	／	実習	ワークショップ・課題を作成する⑥	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
29	／	実習	ワークショップ・課題を作成する⑦	これまでの学習内容を包括したオリジナル楽曲を作成する。
30	／	実習	ワークショップ・課題提出	MIDIシークエンスソフトを使用し楽曲制作にDTMシステムを積極的に活用できる技術を習得する。
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 □

科目名（英）	卒業制作 （Graduation production ）	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	深井　誠
		授業形態	演習	総時間（単位）	180 12	開講区分 曜日・時限	集中
学科・コース	音楽コミュニケーション科（昼間Ⅱ部）						
教員の略歴	アーティストへの楽曲提供の他・CM・劇伴の楽曲アレンジを担当						
授業の学習内容	作曲クラスとコラボレーションして、業界にリクルーティングをする為のオリジナル作品を各自作成する 作詞・作曲・レコーディング・ミキシング・マスタリングなど						
到達目標	グループワークで1枚40分以上ある音楽アルバムを作成し、卒業進級展にて業界各企業にプレゼンテーションを行う						
評価方法と基準	1．授業内評価（%）:50% 2．筆記試験（%）：0% 3．.課題（%）：50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	グループ編成・ミーティングを行う
2	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
3	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
4	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
5	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
6	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
7	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
8	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
9	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
10	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
11	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ミキシング・マスタリングを行う
12	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ミキシング・マスタリングを行う
13	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ミキシング・マスタリングを行う
14	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	プレゼンテーションリハーサルを行う
15	／	演習	卒業進級展で発表する	企業プレゼンテーション本番を行う
準備学習　時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				